

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 7



平成26年6月27日 文責 高尾久美子



子どもたちのために 『連携』を！

6月19日（木）、健康科学大学の粕山先生をはじめ10名ほどの学生さんが、河口小学

校を訪れました。目的は、児童の「走る・跳ぶ・投げる」姿を動画撮影し、分析することで、適切な姿勢や動きをアドバイスするというもの。最近の子どもたちの中に、バランス良く走ったり投げたり跳んだりできない子が多く見受けられることから、このような研究をスタートさせたそうです。

ここ何年か「連携」という言葉が大きく取り上げられています。自分の学校だけでなく、保小中高大学との連携の中で、子どもたちの成長を支援していくことは重要なことです。センターも、学校と様々な機関との連携の橋渡しになれるよう努力していきます。

富士山学習の充実！ 「富士山科学研究所と連携をとって」



6月19日（木）、第2回研究委員会（富士山学習研究会）を富士山科学研究所で行いました。富士山に関する学習プログラムについて、富士山科学研究所の堀内一義先生からお話を伺いました。研究所では、小学生低学年から中学生対象に富士山に関する9個の学習プログラムを作成しました。今回はその一つである「富士山と芸術・文化」についてのプログラムを紹介していただきました。

世界文化遺産である富士山の自然の素晴らしさや、文化遺産としての価値について、パワーポイントを使い大変分かりやすく教えていただきました。また、ビンゴやクイズなど、楽しく飽きさせない内容でした。最後は、富士山の水はどれだろうかと利き水をしました。富士山の水のおいしさを改めて実感することができました。

このような素晴らしいプログラムの活用により、子どもたちがいつそう富士山学習に興味関心がもてるのではないかと思います。富士山科学研究所では、日程の都合がつけばいつでもどこでも出前授業をしてくださるそうです。また、この他にも出張写真展（富士山や・火山や山梨県内の動植物の写真）や富士山学習のための本の貸し出しを無料で行っているそうです。ぜひ、活用してみてください。

なお、去年のセンター研究委員会で作成した富士山学習の年間計画をもとにして、新たなプログラムも作成中だそうです。